

# 海上保安庁 JAPAN COAST GUARD

〒100-8976 東京都千代田区霞が関 2-1-3  
TEL 03-3591-6361  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/>



## 海上保安庁海洋情報部

〒100-8932 東京都千代田区霞が関 3-1-1  
TEL 03-3595-3601  
<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/>



## 海上保安学校

〒625-8503 京都府舞鶴市字長浜 2001  
TEL 0773-62-3520  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/school/>



## 海上保安学校 宮城分校

〒989-2421 宮城県岩沼市下野郷字北長沼 4  
TEL 0223-24-2338  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/school/miyagibranch/index.html>



## 第二管区海上保安本部

〒985-8507 宮城県塩釜市真山通 3-4-1  
TEL 022-363-0111  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/02kanku/>



## 第四管区海上保安本部

〒455-8528 愛知県名古屋港区入船 2-3-12  
TEL 052-661-1611  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/04kanku/>



## 第六管区海上保安本部

〒734-8560 広島県広島市南区宇品海岸 3-10-17  
TEL 082-251-5111  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/06kanku/>



## 第八管区海上保安本部

〒624-8686 京都府舞鶴市字下福井 901  
TEL 0773-76-4100  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/08kanku/>



## 第十管区海上保安本部

〒890-8510 鹿児島県鹿児島市東郡元町 4-1  
TEL 099-250-9800  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/>



## 海上保安大学校

〒737-8512 広島県呉市若葉町 5-1  
TEL 0823-21-4961  
<https://www.jcga.ac.jp/>



## 海上保安学校 門司分校

〒801-0802 福岡県北九州市門司区白野江 3-3-1  
TEL 093-341-8131  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/school/moji/index.html>



## 第一管区海上保安本部

〒047-8560 北海道小樽市港町 5-2  
TEL 0134-27-0118  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/01kanku/>



## 第三管区海上保安本部

〒231-8818 神奈川県横浜市中区北仲通 5-57  
TEL 045-211-1118  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/03kanku/>



## 第五管区海上保安本部

〒650-8551 兵庫県神戸市中央区波止場町 1-1  
TEL 078-391-6551  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/>



## 第七管区海上保安本部

〒801-8507 福岡県北九州市門司区西海岸 1-3-10  
TEL 093-321-2931  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/07kanku/>



## 第九管区海上保安本部

〒950-8543 新潟県新潟市中央区美咲町 1-2-1  
TEL 025-285-0118  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/09kanku/>



## 第十一管区海上保安本部

〒900-8547 沖縄県那覇市港町 2-11-1  
TEL 098-867-0118  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/11kanku/>



## 海上保安庁 Twitter

[https://twitter.com/JCG\\_koho](https://twitter.com/JCG_koho)



## 海上保安庁 YouTube

<https://youtube.com/channel/UC3yxhEkCZKaDa-SdzaWECaQ>



## かいほジャーナル

年間4回発行している広報誌。  
全国の海上保安部署にて配布。  
過去のかいほジャーナルは以下の URL から  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/hakkou/top.html>



## 海上保安レポート

海上保安業務に関する年次報告書。  
毎年5月発行。  
過去の海上保安レポートは以下の URL から  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/doc/hakkou/report/top.html>

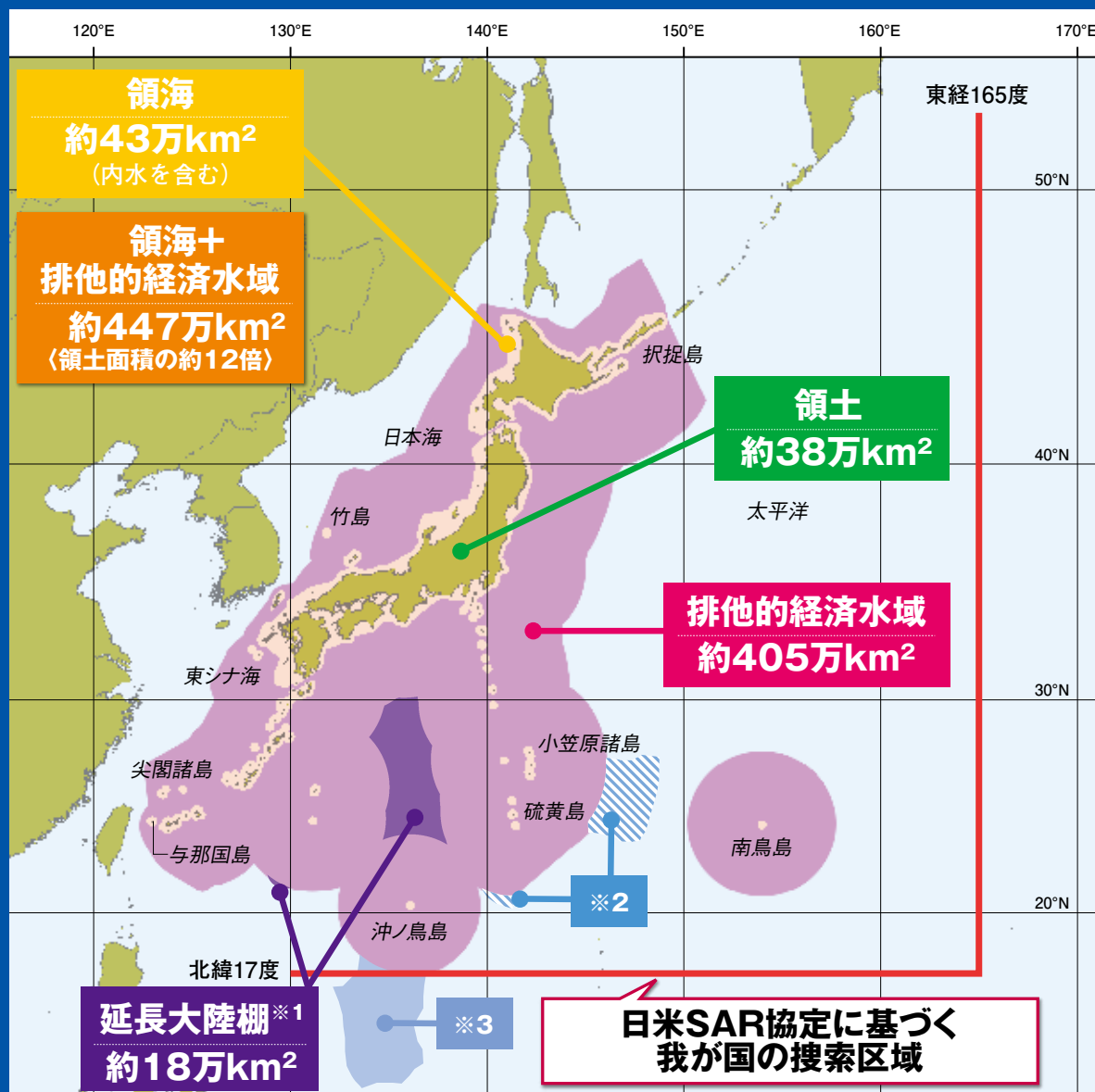






# 愛します！守ります！日本の海

※本図は未定海域における地理的中間線を含め、便宜上図示しています。



※1 「排他的経済水域及び大陸棚に関する法律」第2条第2号が規定する海域  
 ※2 大陸棚の延長が認められ、関係国と調整を行っている海域  
 ※3 大陸棚について、国連大陸棚限界委員会の審査が先送りされた海域

広大な海で四面を囲まれた海洋国家である我が国は、貿易や漁業により恵みを得る一方、海難や密輸・密航といった海上犯罪、そして領土や海洋資源の帰属について国家間の主権主張の場となるなど、海上において様々な事案が発生しています。海上保安庁は昭和23年5月に発足し、以来、国民が安心して海を利用し、様々な恩恵を享受できるよう関係国との連携・協力関係の強化を図りつつ、海上における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全等の活動に日夜従事しています。



## Contents

船艇・航空機	3
治安の確保	7
領海・EEZを守る	9
生命を救う	11
青い海を守る	13
災害に備える	15
海を知る	17
海上交通の安全を守る	19
海をつなぐ	21
目指せ！海上保安官	
海上保安大学校	23
海上保安学校	25
海上保安学校門司分校 / 宮城分校	27
キャリアアップモデル / 国家公務員総合職	28
さまざまなキャリアアップ	29
海上保安庁で活躍する女性保安官	30
インフォメーション	31
海上保安庁の組織・体制	33





# 船艇・航空機

船艇 (令和2年4月1日現在) 473 隻

巡視船	141 隻	測量船	14 隻
PLH 型	17 隻	HL 型	6 隻
PL 型	49 隻	HS 型	8 隻
PM 型	38 隻	灯台見回り船	6 隻
PS 型	36 隻	LM 型	3 隻
FL 型	1 隻	LS 型	3 隻
巡視艇	238 隻	教育業務用船	3 隻
PC 型	69 隻		
CL 型	169 隻		
特殊警備救難艇	71 隻		
放射能調査艇	3 隻		
警備艇	2 隻		
監視取締艇	66 隻		

※その他の船艇はホームページをご覧ください  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/soubi-yosan/sentei/ship.html>



## どんな荒波も越えていく

PLH 型 (ヘリコプター搭載型) 巡視船れいめい  
 全長：150.0メートル  
 最大幅：17.0メートル  
 総トン数：6,500トン

PL 型 (1,000トン型) 巡視船おき  
 全長：96.0メートル  
 最大幅：11.5メートル  
 総トン数：1,500トン

PM 型 (500トン型) 巡視船そらち  
 全長：72.0メートル  
 最大幅：10.0メートル  
 総トン数：650トン

PS 型 (180トン型) 巡視船しんざん  
 全長：46.0メートル  
 最大幅：7.5メートル  
 総トン数：195トン

PC 型 (23メートル型) 巡視艇すがなみ  
 全長：27.0メートル  
 最大幅：5.6メートル  
 総トン数：64トン

CL 型 (20メートル型) 巡視艇さつかぜ  
 全長：20.0メートル  
 最大幅：4.5メートル  
 総トン数：26トン





# 船艇・航空機

# 船だけじゃない

航空機 (令和2年4月1日現在) 85機

飛行機	33機	ヘリコプター	52機
ガルフV	2機	スーパーピューマ 225	9機
ファルコン 2000	4機	スーパーピューマ 332	2機
ボンバル 300	9機	アグスタ 139	18機
サーブ 340	4機	シコルスキー 76C	3機
ビーチ 350	9機	シコルスキー 76D	11機
セスナ 172	5機	ベル 412	5機
		ベル 505	4機



※その他の航空機はホームページをご覧ください  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/soubi-yosan/koukuuki/air.html>

# 機動力を生かし

# 空からも



LAJ ガルフ V  
 全長：29.39メートル  
 全巾：28.49メートル  
 全高：7.89メートル

MH シコルスキー 76D  
 全長：15.97メートル  
 全高：4.41メートル

MAJ ファルコン 2000  
 全長：20.23メートル  
 全巾：21.38メートル  
 全高：7.18メートル

MH スーパーピューマ 225  
 全長：19.50メートル  
 全高：4.97メートル





# 治安の確保

# 安全で安心な



# 日本の海の実現を

四方を海に囲まれた我が国にとって、「海」は海上輸送の交通路であり、水産資源等を生む漁業等の活動の場となっているだけでなく、海を仕事場としない国民にとっても、マリンレジャーを楽しむ憩いの場として、昔から親しまれてきました。

一方、我が国にとって「海」は国境でもあり、我が国の治安を脅かすテロや密輸・密航、漁業秩序を乱す密漁等、さまざまな犯罪行為が行われる場にもなります。

海上保安庁では、海上で行われるこうしたさまざまな犯罪行為の未然防止や取締りに努め、安全で安心な日本の海の実現を目指します。

## さまざまな犯罪行為への対策・対応

### 各種海上犯罪取締り

海難に直結するおそれのある船舶の無免許・無検査などの海事関係法令違反、悪質な密漁などの漁業関係法令違反、船内窃盗、傷害等の海上犯罪の取締りを実施。

### 密輸・密航対策

洋上での積荷受渡し（瀬取り）や海上輸送コンテナ貨物等への隠匿による密輸、貨物船や小型船等を利用した密航の取締りを実施。

### テロ対策

巡視船艇・航空機による原子力発電所や石油コンビナート等の重要インフラ施設の警戒のほか、旅客ターミナル、フェリー等のソフトターゲットに重点を置いた警戒を実施。

### 海賊対策

ソマリア沖・アデン湾の海賊対処のために派遣されている海上自衛隊の護衛艦に海上保安官を同乗させるほか、東南アジア海域などへ巡視船・航空機を派遣し海上保安機関と連携訓練や意見交換を行うなどの連携協力を実施。

### 不審船・工作船対策

不審船・工作船の活動に備え、巡視船艇・航空機による警戒・監視を実施するとともに、不審船・工作船対応を主目的とする巡視船による訓練、海上自衛隊との共同訓練を実施。

### 漂流・漂着木造船等への対応

巡視船艇・航空機等による巡視警戒を強化し、地域の自治体などと連絡体制の確保を徹底するとともに、漁船や地元住民からの不審事象の通報に関する働きかけを推進。

### 警備実施

国際会議や競技大会が臨海部で開催される場合や、外国艦船の我が国への寄港、核物質の海上輸送にあたり、警備実施等強化巡視船を中心に警備を実施。

船舶への立入検査



覚せい剤の密輸



海賊護送訓練



衝突容疑船から塗膜片を採取する潜水士



テロ対応訓練



海上自衛隊との合同訓練



外国漁船の取締り



## 写真で見る海上保安官

漂流・漂着木造船の調査





# 領海・EEZを守る

海上保安庁では、我が国周辺海域において、国際法や国内法に基づき、昼夜を問わず外国公船、外国海洋調査船による活動や、外国漁船による違法操業の監視などを実施しています。

## 領海・排他的経済水域 (EEZ) における対応

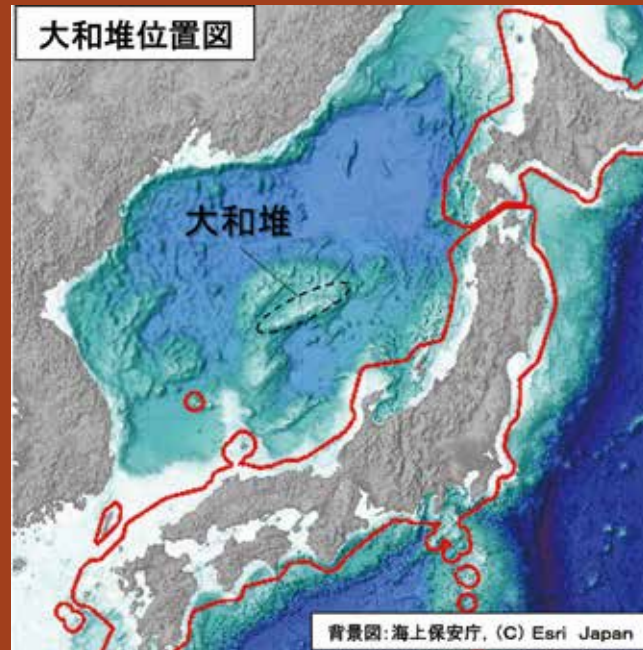
我が国周辺海域では、尖閣諸島周辺海域における中国公船による活動のほか、外国海洋調査船による我が国の事前の同意を得ない調査活動、大和堆周辺海域などの外国漁船による違法操業が後を絶ちません。

このような状況の中、我が国の領土・領海を断固として守り抜くとの方針の下、今この瞬間も、冷静に、かつ、毅然とした対応を続けています。



尖閣諸島周辺の接続水域では、ほぼ毎日、中国公船による活動が確認されており、領海侵入する事案も発生しています。

近年では中国公船の大型化・武装化・増強も確認されており、尖閣諸島をめぐる状況は一層厳しさを増しています。



大和堆周辺海域では、外国漁船による違法操業が後を絶たず、同海域に接近しようとする外国漁船に対し、退去警告や放水を行い、我が国EEZの外側に向け退去させています。

# 冷静かつ毅然と対応

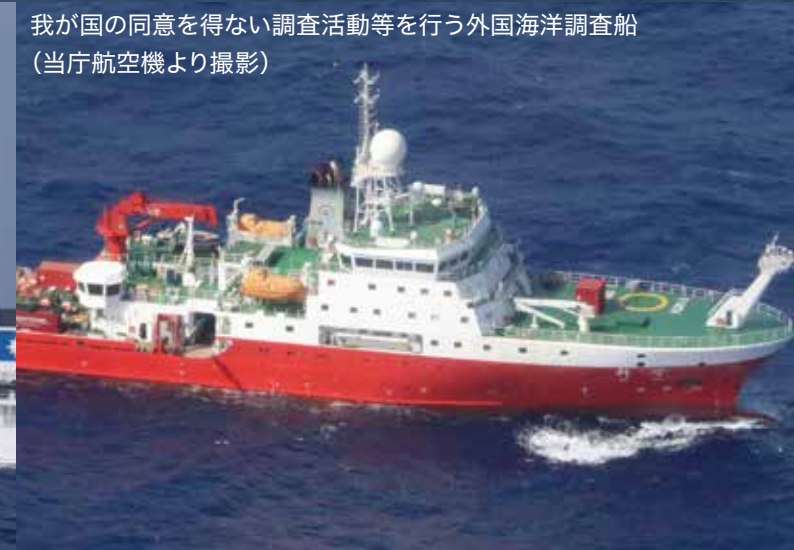


魚釣島と巡視船

中国公船（奥）を警戒監視する巡視船（手前）



我が国の同意を得ない調査活動等を行う外国海洋調査船（当庁航空機より撮影）



北朝鮮漁船に退去警告を行う巡視船



北朝鮮漁船に放水する巡視船





# 生命を救う

海は、海上交通や漁業、マリレジャーといったさまざまな活動の場として利用され、私たちにとって身近な存在ですが、時に衝突・転覆などの船舶事故や海浜事故などの海難が発生する危険な場所でもあります。海上保安庁では、国民の皆様には海の危険性や自己救命策確保の必要性について周知・啓発活動を行い、海難の未然防止に努めるとともに、いざ海難が発生した場合には、強い使命感のもと、迅速な救助・救急活動を行い、尊い人命を救うことに全力を尽くしています。

## 海難情報の収集体制

海上保安庁では、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号「118番」や「NET118」を運用するとともに、GPS機能を「ON」にした携帯電話からの「118番」通報の際に、音声とあわせて位置情報を受信することができる「緊急通報位置情報システム」を導入しています。

また、「GMDSS（海上における遭難及び安全に関する世界的な制度）」に基づき、24時間体制で海難情報の受付に対応しています。

## ■ 救助要請から救助までの流れ（例）



## NET118

聴覚や発話に障がいがある方のためのインターネットを使用した緊急時の通報サービスです。

本サービスは「事前登録制」です。右記の二次元バーコードを読み取るか、entry@net118.jp を直接あて先に入力し、空メール送信後、案内に従って登録して下さい。



## 海難救助体制



# 苦しい 疲れた

# もうやめたでは

# 人の命は救えない

## 洋上救急

洋上の船舶内で傷病者が発生し、医師による緊急の加療が必要な場合に、医師・看護師が巡視船艇・航空機に同乗して現場へ向かい、応急治療を行いつつ、病院まで搬送するシステムです。医師・看護師の派遣に関する手続きは公益社団法人日本水難救済会が行っています。

## 救急員制度

洋上において発生した傷病者に対する救急体制の更なる充実のため、所定の教育を修了した海上保安官を「救急員」として指名し、救急救命士を補助して行う応急処置等を実施する制度。

## 自己救命策確保の推進

海上保安庁では、「自己救命策3つの基本」の周知・啓発活動を実施しています。

- 1 ライフジャケットの常時着用
- 2 防水バック入り携帯電話などによる連絡手段の確保
- 3 118番・NET118の活用





# 青い海を守る

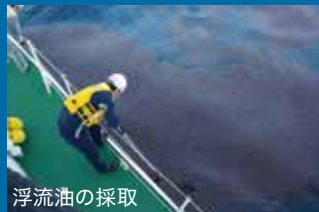
私たちの共通の財産である海を美しく保つため、「未来に残そう青い海」をスローガンに、海洋汚染の調査、海上環境法令違反の取締り、海洋環境保全に関する指導・啓発などに取り組んでいます。

## 海洋環境保全対策

海上環境法令違反の監視・取締り、海洋環境の調査、国民の皆様への指導・啓発活動など、海洋環境を保全するための総合的な取組を実施しています。

### 海上環境事犯対策

船舶からの油などの不法排出、廃棄物・廃船の不法投棄に対し、巡視船艇・航空機、陸上からの監視・取締りを実施。



浮流油の採取



漁網に絡まる海がめ



不法投棄された廃船

### 海洋汚染の調査

海洋環境保全や放射能レベルの把握のため、海水及び海底堆積物中のさまざまな成分の調査を実施。



海洋環境調査

### 指導・啓発

「未来に残そう青い海」をスローガンに掲げ、地方公共団体やボランティア団体などと協力して海洋環境保全のための指導・啓発活動を推進。



訪船指導



海洋環境保全教室



海浜清掃

## 未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール

海上保安庁と公益財団法人海上保安協会が協力し、将来を担う子どもたちの海への関心を高め、海の環境を守る心を育むことを目的として実施しています。



第20回未来に残そう青い海・海上保安庁図画コンクール 特別賞（国土交通大臣賞）受賞作品 赤羽国土交通大臣



# 美しい海を

# 次世代へ 継承するために



## 海上保安試験研究センター

全国の部署から送られてくる船舶から排出された疑いのある油や転覆船の航海計器等、海上犯罪の証拠品の分析鑑定を実施しています。

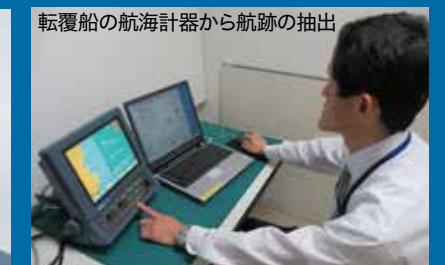
船艇、航路標識、業務用資機材に関する研究をしています。



排出された油の抽出作業



※海上保安試験研究センターは、立川広域防災基地（東京都立川市）の一角に立地しており、震が関の海上保安庁舎が被災した場合などに海上保安庁災害活動拠点として機能します。



転覆船の航海計器から航跡の抽出



不法排出された油の分析



# 災害に備える

海上での災害には、船舶の火災、衝突、乗揚げ、転覆、沈没などに加え、それに伴う油や有害液体物質の排出といった事故災害と、地震、津波、台風、火山噴火などといった自然災害があります。

海上保安庁では、このような災害が発生した場合に、迅速かつ的確な対応ができるように、資機材の整備や訓練などを通じて万全の準備を整えているほか、事故災害の未然防止のための取組や自然災害に関する情報の整備・提供なども実施しています。



## 災害により脅かされる人命・財産を、迅速に保護

### 事故災害対策

船舶の火災、衝突や沈没などの事故が発生し、それに伴って油や有害物質が海上に流出すると、自然環境や付近住民の生活に甚大な悪影響を及ぼします。

事故災害の予防に取り組むとともに、防災資機材や消防船などを全国に配備し、常に出動できる体制を整えています。

また、国内外の関係機関と訓練や講習などを実施して、連携・協力を強化し、海上防災体制の充実に努めています。

火災船舶におけるガス検知作業



海上流出油の防除作業



有害物質漏えい船舶の調査



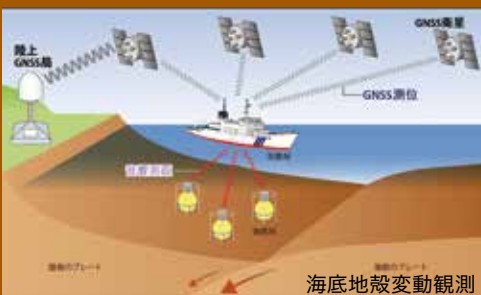
### 自然災害対策

地震、津波、台風、火山噴火などによる自然災害が発生した場合に、被災者の救出、人員・救援物資の緊急輸送、被害状況の調査などの災害応急活動を迅速・的確に実施するため、体制の整備や関係機関との連携強化などに努めています。

また、地震発生予測海域における海底地形等の調査や、巨大地震の発生メカニズムの解明のため、海底の動きを測定する海底地殻変動観測を実施しています。



給水支援



海底地殻変動観測

### 大規模流出油関連情報

海上への油等排出事故が発生した際、環境への影響を迅速に把握・評価し、被害を最小限とするために利用する情報を「沿岸海域環境保全情報」として整備しています。

整備した情報を油防除の関係機関、地方公共団体、民間団体などが活用できるよう、「シーズネット (CeisNet)」の名称で提供しています。

※CeisNet は現在、海しるの1つのテーマとして情報提供しています。

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/JODC/ceisnet/>



### 機動防除隊

機動防除隊は、海上に排出された油・有害液体物質などの防除や海上火災の消火及び延焼の防止に関する指導・助言や関係者間の調整を実施するほか、必要に応じて自ら防除措置などを実施する海上災害の防止に関するスペシャリストです。





# 海を知る

我が国は、四方を海に囲まれた海洋国家であり、その広大な海を活動の場としてきました。海は豊かな恵みをもたらすと同時に、日本と世界をつなぐ道でもあり、我々の営みを支える極めて重要な存在です。海洋権益の確保や海上交通の安全、海洋環境の保全や防災に加えて、近年大きな期待が寄せられている新たな海洋資源開発の実用化のためにも、海洋に関する詳細な調査を実施し、得られた情報を適切に管理・提供していくことが不可欠です。海上保安庁では、引き続き広域かつ詳細な海洋調査を計画的に実施し、情報を適切に管理・提供することで、海洋権益の確保や海上の安全を図る役目を担っていきます。

# 広大な海への調査に 全力を尽くし、

# 未来に供する

GEBCO | 海上保安庁 (JCG) | (C)EsriJapan



## 海洋調査

海底地形を知る

海底の動きを知る

海底下の地層を知る

海の流れを知る

海洋汚染を知る

### ■レーザーで調査

航空機からレーザー光を発射、海底からの反射光の到達時間により水深等を調査。

### ■音波で調査

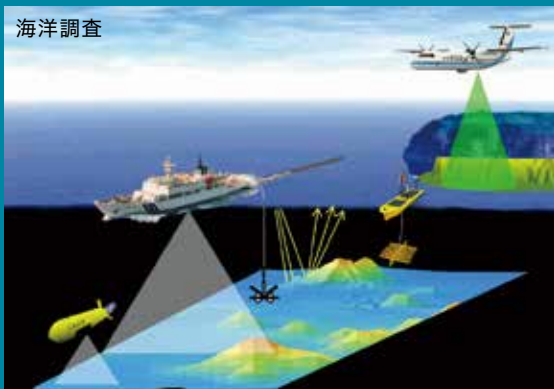
測量船や AUV (自律型潜水調査機器) から音波を発振、海底との往復時間を計測して海底地形を調査、海底地殻変動や海の流れを観測。

### ■AOV (自律型海洋観測装置) で調査

波の力を推進力とし、太陽光だけで長期無人観測が可能な AOV により、海潮流を含め、風・波高・水温等の海洋情報をリアルタイムで収集。

### ■採水・採泥で調査

海水及び海底に堆積している砂や泥の採取を行い、高精度の化学分析を実施、それぞれに含まれる物質を調査。



## 情報提供

航海安全を支える情報

海洋に関する情報

災害に備える情報

### ■海図・水路書誌

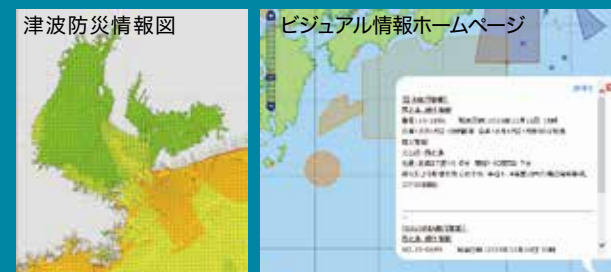
海岸線や水深、潮流・潮汐などの調査結果をもとに、船舶の安全航行に不可欠な海図や水路書誌を作製し提供。

### ■水路通報・航行警報

海図などを最新の状態に維持するための情報として水路通報を、漂流物など緊急にお知らせするための情報として航行警報を提供。 ※インターネットで「ビジュアル情報」を提供。

### ■海洋情報のウェブサービス

海洋情報を集約・共有するためのウェブサービス「海しる」にて、海洋情報を提供。関係府省や政府関係機関が保有するさまざまな海洋情報を船舶の運航管理、漁業、防災、海洋開発といった目的に応じて選択し、地図上に重ねて表示。



ビジュアル情報ホームページ  
<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/TUHO/vpage/visualpage.html>



海しる  
<https://www.msil.go.jp/>





# 海上交通の安全を守る

我が国の周辺海域では、毎年 2,000 隻前後の船舶事故が発生しています。ひとたび船舶事故が発生すると、尊い人命や財産が失われるとともに、我が国の経済活動や海洋環境に多大な影響を及ぼすこともあります。海上保安庁では、引き続き海上交通の安全を確保するため、さまざまな取組を実施してまいります。

## さまざまな海域の安全対策

### ふくそう海域

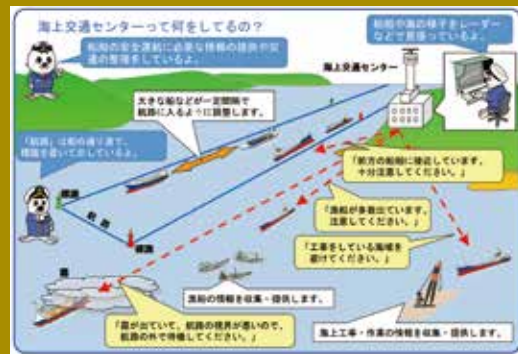
船舶がふくそうする東京湾、伊勢湾及び瀬戸内海並びに港内では特別な交通ルールなどを定め、海上交通センターなどにより船舶の安全な航行に必要な情報提供などを実施。

### 港内

港則法に基づき、全国87の港を「特定港」に指定。船舶の入出港状況の把握、危険物荷役の許可、停泊場所の指定などを行い、港内の安全確保を実施。

### 沿岸

AIS(船舶自動識別装置)を活用した航行支援システムを運用し、日本沿岸において乗揚げや走錨のおそれのある船舶に対して注意喚起や情報提供を実施。



大瀬埼灯台



# 海難ゼロを目指して

## ウォーターアクティビティ等の安全対策

### 海難防止活動

海難を防止するため、訪船指導や海難防止講習会、青少年を対象とした海上安全教室などの安全啓発活動を実施。



### 情報提供

■ウォーターセーフティガイド  
海で安全に安心して楽しめるよう事故防止のための総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」を公開。マリンレジャー前には是非ご覧ください



[https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00\\_totalsafety.html](https://www6.kaiho.mlit.go.jp/info/marinesafety/00_totalsafety.html)



### ■海の安全情報(沿岸域情報提供システム)

パソコン・スマートフォンなどで全国各地の気象・海象等を手軽に入手できるシステムです。

## 航路標識

航路標識には、灯台や灯浮標のほか、船舶交通に関する情報を提供する船舶通航信号所、AIS 信号所や潮流信号所などさまざまなものがあります。

## 新技術の開発・国際連携

最適な航路標識の設計、機器や情報システムの開発を推進。

### ■AIS 情報を活用した船舶動静予測技術の開発



### ■カメラ画像解析による船舶情報抽出技術の開発





# 海をつなぐ

四方を海に囲まれる世界有数の海洋国家である我が国にとって、海でつながる諸外国と連携・協力を図り、海で発生するさまざまな問題を円滑に解決することは非常に重要です。

海上保安庁では、諸外国の海上保安機関との間で、多国間・二国間の枠組みを通じ、海賊、不審船、密輸・密航、海上災害、海洋環境保全、海上交通の安全といったあらゆる課題に取り組み、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化を図るとともに、シーレーン沿岸国の海上保安能力向上を支援するほか、国際機関と連携したさまざまな取組を行っています。

## 多国間での連携・協力

### 世界海上保安機関長官級会合

Coast Guard Global Summit (CGGS)

世界各国の海上保安機関が、地域の枠組みを超え、法の支配に基づく海洋秩序の維持など基本的な価値観を共有し、力を結集して地球規模の課題に取り組むため、日本財団と共催で実施。

### 北太平洋海上保安フォーラム

North Pacific Coast Guard Forum (NPCGF)

北太平洋地域の6カ国（日本、カナダ、中国、韓国、ロシア、米国）の海上保安機関が北太平洋の海上の安全・セキュリティの確保、海洋環境の保全などを目的として我が国の提唱により平成12年から実施。

### アジア海上保安機関長官級会合

Heads of Asian Coast Guard Agencies Meeting (HACGAM)

アジアでの海上保安業務に関する地域的な連携強化を図ることを目的として我が国の提唱により平成16年から実施。

# 海の安全確保のために

JCG 2nd Coast Guard Global Summit  
20-21 November 2019 Tokyo, Japan

# 世界の海上保安機関との連携・協力を



世界75か国、84の海上保安機関・関係機関が参加

## 二国間での連携・協力

地政学上重要な関係国と事案対応時の迅速・的確な連携・協力を行うため、覚書や協定に基づく二国間連携体制を構築しています。

### 韓国

平成11年から「日韓海上保安当局長官級協議」を実施。



### ロシア

年1回の長官級会合のほか、日露合同訓練などを実施。



### インド

平成12年以降、定期的に長官級会合や連携訓練を実施。



### アメリカ

令和元年、東京において5年ぶりとなる日米海上保安機関長官級会合を実施。



### ベトナム

令和元年、ベトナム海上警察の巡視船が本邦初寄港。実務者級会合を実施。



### インドネシア

令和元年、海上安全分野の協力に関する覚書を締結。



### オーストラリア

平成30年、海上保安に関する人材育成、情報交換などの覚書を締結。



その他、中国、フィリピン等とも、海上保安分野における連携・協力を推進しています。

## 諸外国への海上保安能力向上支援

東南アジアをはじめとした周辺国に対し、海上保安庁が有する知識技能を伝え、各国の海上保安能力向上を目指します。



MCTによる海面漂流者救助訓練(パラオ)



MCTによる制圧訓練(ジブチ)



MCTによる油防除技術支援(スリランカ)



ASEAN諸国に対し、VTS管制官育成支援

MCT(海上保安庁モバイルコーポレーションチーム)能力向上支援の専任部門

## 国際機関との協調

### 国際海事機関 (IMO)

船舶の安全や海洋汚染などの海事問題に関する国際協力を促進するために設立された国連の専門機関。

### 国際水路機関 (IHO)

海図や水路測量等の国際基準の策定や国際協調を通じて、航海安全等に資することを目的として設立された国際機関。

海上保安庁では業務を通じて得られた知識技能を活かし、さまざまな分野の国際機関の取組に参画しています。

### 国際航路標識協会 (IALA)

航路標識の改善や統一等により、船舶の安全で経済的かつ効率的な運航に寄与することを目的として設立された国際的な組織。

### アジア海賊対策地域協力協定・情報共有センター(ReCAAP-ISC)

アジアの海賊・武装強盗問題に有効に対処するための地域協力を促進するための協定。この協定に基づき、シンガポールに情報共有センターを設立。

## 海上保安政策プログラム

平成27年から、アジア諸国の海上保安機関の相互理解の醸成と交流の促進により海洋の安全確保に向けた各国の連携協力、認識共有を図るため、「海上保安政策プログラム」を開講し、アジア諸国の海上保安機関職員を受け入れ、能力向上支援を行っています。



海上保安政策プログラム在生・修了生と安倍総理との記念撮影



目指せ！海上保安官

Coast Guard Academy

# 将来の幹部職員を養成

# 海上保安大学校

海上保安大学校

広島県呉市

広範囲にわたる海上保安業務の責務を全うする資質を培い、将来に向かって絶えず向上できる資質を養成するために、人格の陶冶とリーダーシップの涵養、高い教養と見識の修得、強じんな気力・体力の育成を教育方針として教育訓練を実施しています。



### 受験資格

令和2年4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び令和3年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

### 募集人員

約60名

### 受付期間

インターネット：8月27日(木)～9月7日(月)  
郵送・持参：8月27日(木)～8月28日(金)

### 試験日程

一次試験：10月31日(土)、11月1日(日)  
二次試験：12月18日(金)

### 給与

月額約15万円(令和元年度)

### 衣食住

全員が学生寮で生活。入学金・授業料・寮費は一切不要。食事・制服類・寝具は支給または貸与。

### 待遇

国土交通省職員として、国土交通共済組合員としての社会保障を受けることができる。

その他、幹部職員を養成するため、令和2年度から大学卒業者を対象とした「海上保安官採用試験」を新設。

### 期末/勤勉手当

年2回(6月、12月)

詳しくはP28の「海上保安大学校・海上保安学校学生採用試験情報」をチェック!

### カリキュラム

2学年の後半から航海・機関・情報通信という3つの分野のうち1つを選び卒業後の進路を決定します。

本科(4年間)				専攻科(6ヶ月) + 研修科 国際業務課程(3ヶ月)
1学年	2学年	3学年	4学年	
<b>基礎教育科目</b> 幅広い教養を身につける <b>共通科目</b> 哲学、文学、法学、法学演習、憲法、経済学、数学、統計情報処理、物理学、物理学実験、化学、化学実験、英語、英会話、保健体育 など <b>選択科目</b> ロシア語、中国語、韓国語のいずれか				
<b>専門基礎科目</b> 専門教育を受けるため、必要な基礎能力を身につける <b>共通科目</b> 国際政治、政策科学、情報科学、気象学、海洋学、実務英語、リーダーシップ論、国際法、刑法、刑事訴訟法、行政法、民事法 など				
<b>群別科目</b> 第一群(航海)・第二群(機関)・第三群(情報通信)のいずれか <b>第一群</b> 航海学、船用計測工学、船体運動工学、海事法、船舶工学 など <b>第二群</b> 材料力学、機械力学、工業熱力学、電気機械工学、原動機工学 など <b>第三群</b> 情報理論、電子回路、通信システム、電磁波工学、通信工学実験 など				
<b>専門教育科目</b> 複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要な専門能力を身につける <b>共通科目</b> 海上保安制度論、海上犯罪捜査、捜索救助、海上交通政策学、海上警察論、国際紛争論、国際海洋法、海上安全学、海難救助工学、特別研究、組織行動論、海上保安演習、海上警察政策 など				<b>その他</b> 実用英語 国際業務 現場実務 海上犯罪論 海上安全工学論
<b>訓練科目</b> 逮捕術から救急安全法まで特殊技能を身につける 逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、潜水、水泳、総合指揮(基本動作等、統率管理)、救急安全法 など				
<b>実習科目</b> 小型船舶の操船技術や通信技術を学ぶ 小型船舶、通信実技、国際通信実習 など				
<b>乗船実習</b> 習得した船舶運航の知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身につける				
国内航海実習		国内航海実習		遠洋航海実習

### 年間行事

4月	入学式
5月	遠洋航海出港式
6月	学生祭(海神祭)
7月	遠泳訓練・オープンキャンパス・学生国際会議
8月	遠洋航海帰港式・帆走巡航
11月	特別研究(卒業論文)発表会
1月	耐寒訓練
3月	卒業式

### 1日の流れ

06:30	起床(起床整列・体操・清掃)
07:10	朝食
08:20	課業整列
08:45	授業
12:00	昼食
13:00	授業
17:15	授業終了後体育活動 夕食・入浴
19:00	自習時間
22:15	帰校門限
22:30	巡検・消灯

※原則として17:15以降毎日外出は可能です。休日の前日は外泊もできます。  
 ※帰校門限は22:15(翌日が休日の場合は23:00)  
 ※土曜日、日曜日、国民の祝日は休日です。そのほか、夏期・年末年始などに長期休暇もあります。





# 各分野の専門職員を養成

# 海上保安学校

海上保安学校

京都府舞鶴市

二方を舞鶴湾に囲まれた静かで美しい環境の中にあり、海上保安業務に必要な学術や技能を教授し、あわせて心身の練成を行い、実践に即応できる海上保安官の育成を目的に設置された海上保安庁の教育機関です。卒業後は巡視船艇の乗組員などとして配属され、能力や適正に応じ特殊任務を行うスペシャリストになる道もあります。



## 受験資格

**令和2年10月採用** 令和2年4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して13年を経過していない者及び令和2年9月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

**令和3年4月採用** 令和2年4月1日において、高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して12年を経過していない者及び令和3年4月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

## 募集人員

未定

## 受付期間

令和2年10月採用：インターネット 3月27日(金)～4月3日(金)  
 郵送・持参 3月27日(金)～3月30日(月)  
 令和3年4月採用：インターネット 7月21日(火)～7月30日(木)  
 郵送・持参 7月21日(火)～7月22日(水)

## 試験日程

令和2年10月採用：一次試験：5月10日(日)  
 二次試験：6月3日(水)～6月17日(水)  
 令和3年4月採用：一次試験：9月27日(日)  
 二次試験：10月20日(火)～10月29日(木)  
 三次試験(航空課程のみ)：12月5日(土)～12月13日(日)

## 給与

月額約15万円(令和元年度) 年2回(6月、12月)

## 期末/勤勉手当

## 衣食住

全員が学生寮で生活。入学金・授業料・寮費は一切不要。食事・制服類・寝具は支給または貸与。

## 待遇

国土交通省職員として、国土交通共済組合員としての社会保障を受けることができる。

詳しくはP28の「海上保安大学校・海上保安学校学生採用試験情報」をチェック!

## カリキュラム

採用試験申込時に5つの課程のうち、いずれかを選択します。

課程コース	船舶運航システム課程(1年)			情報システム課程(2年)	管制課程(2年)	航空課程(1年)	海洋科学課程(1年)
	航海コース	機関コース	主計コース				
課程コース	海上保安官として巡視船艇の運航に必要な知識・技能及び海上犯罪取締りなどに必要な知識を習得する課程です。			海上保安官として通信機器の運用・管理と航行安全に必要な知識・技能及び海上犯罪取締りなどに必要な知識を習得する課程です。	船舶交通を管制する業務に関する知識・技能を修得する課程です。	海上保安庁の航空機のパイロットになるための基礎教養を習得するとともに、海上犯罪取締りなどに必要な知識を習得する課程です。	航海の安全を確保するために必要なさまざまな海洋データを収集・解析し、提供する海上保安官を育てる課程です。海洋の科学的資料の収集・解析に必要な知識・技能を学びます。
教育内容(共通)	<b>基礎教養</b> 英語、情報処理、体育、基本動作、小型船舶操縦、乗船実習、総合実習、訓練 <b>刑法、刑事訴訟法、海上警察、救難防災、海上環境</b>						
教育内容(課別・コース別)	航海運用 海事法 気象 海象 など	機関 電気機器 海事法 など	主計 総務 経理補給 船舶衛生 調理 など	数学 物理 通信実技 情報通信 航行安全 電気機器 基礎電子工学 航行援助システム機器 など	情報通信 航行安全 管制業務機器 海事一般 シミュレータ業務 英語 など	数学 物理 気象・海象 航空通信運用 海上航空業務 船舶概要論 など	数学 基礎科学 海上安全業務 気象・海象 海洋情報業務管理 測量 水路図誌編集 など
卒業後の進路	管内転勤 巡視船艇など (警備救難業務など)		海上保安部など (海上交通業務など)		全国転勤 海上交通センター 巡視船艇・陸上部署	航空研修 (パイロット養成) 航空基地 (警備救難業務など)	本庁・管区本部 (海洋情報業務など)

## 年間行事

4月	入学式
5月	春季行軍
6月	基本動作競技会
7月	学生祭(五森祭)・遠泳訓練・オープンキャンパス
9月	卒業式
10月	入学式
11月	基本動作競技会
12月	早朝訓練
3月	卒業式

## 1日の流れ

06:30	起床(起床整列・体操・清掃)
07:25	朝食
08:20	課業整列
08:30	授業
12:05	昼食
12:50	授業
17:30	夕食・入浴
20:00	自習時間
22:15	帰校門限
22:30	巡検・消灯

※原則として毎日外出可能です。休前日は外泊もできます。  
 ※帰校門限は22:15「月・火・木は20:00」(翌日が休日の場合は23:00)  
 ※おおむね土曜日、日曜日、国民の祝日は休日です。そのほか、夏期、年末年始などに長期休暇もあります。





# 目指せ！海上保安官

## 海上保安学校門司分校 福岡県北九州市

船舶、航空機及び無線通信の有資格者から採用試験に合格し、採用された者に対して6ヶ月間の初任者研修を行います。



## 海上保安学校宮城分校 宮城県岩沼市

航空要員を養成するための研修施設です。海上保安学校航空課程卒業生のほか、現場の航空要員に対して、資格取得や技能向上のための研修を行います。



## 受験資格拡大

話題!

**海上保安大学校** 幹部職員を養成するため、令和2年度から大学卒業者を対象とした「海上保安官採用試験」を新設。採用後、海上保安大学校において、航海または機関の各専攻に分かれ2年間の研修を実施。

■受験資格 試験年度の4月1日現在の年齢が30歳未満で、①大学を卒業した者  
②試験年度3月までに大学卒業見込みの者

■試験科目 1次 基礎能力試験 課題論文試験  
2次 人物試験 身体検査、身体測定、体力検査

■採用予定数 30名程度

**海上保安学校** 令和2年10月入学の採用試験から「海上保安学校学生採用試験」の受験資格を拡大。

■受験資格 高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して、12年を経過していない者(4月に入学する場合)

■試験科目 1次(共通) 基礎能力試験 学科試験 作文試験  
2次 人物試験(航空課程除く) 身体検査、身体測定、体力検査  
3次(航空課程) 人物試験 適性検査 身体検査

■採用予定数 4月採用 340名程度 10月採用 260名程度

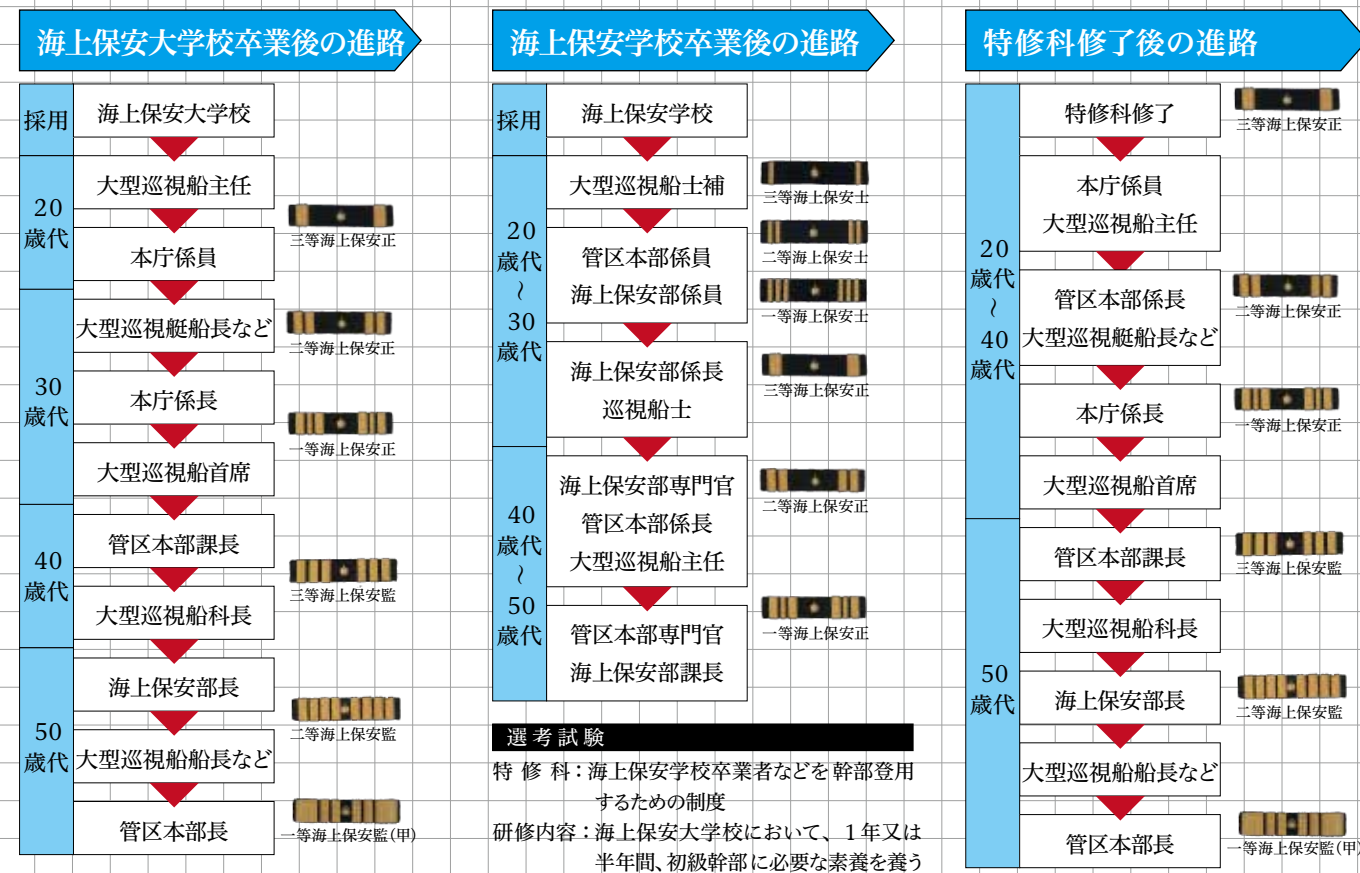
問い合わせ先 海上保安庁教育訓練管理官 TEL 03-3580-0936

詳しく知りたい方は「職員採用情報」へ  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/top.html>



## キャリアアップモデルケース

※一例であり、個人の能力、適正などにより異なります。



## 国家公務員総合職採用 (技術系)

海上保安庁海洋情報部・交通部では、国家公務員総合職技術系職員を採用しています。総合職技術系職員は、政策の企画立案、技術開発・研究などの経験を積み、将来的には幹部職員として海上保安行政に携わります。

### 総合職のキャリアパス



入庁

他の組織などでの経験  
●国土交通省 ●海外留学/海外研修  
●練習船「こじま」航海実習  
●南極地域観測隊 など

官付・係員

調査・観測 / 研究 / 技術開発

官・係長

他の組織などでの活躍  
●国際機関 ●大使館 ●内閣官房  
●JICA ●海上保安大学校  
●総務省 など

主任官

政策立案 / 組織管理

課長補佐



管理職へ

海上保安大学校・海上保安学校学生採用試験情報

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/siken.html>



海上保安官 (有資格者) 採用試験情報

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/mojisaiyou-index.html>



海上保安庁国家公務員総合職採用試験情報

<https://www1.kaiho.mlit.go.jp/saiyo/index.html>





目指せ！  
海上保安官



国際捜査官

鑑識官



# 海上保安庁 で活躍する 女性保安官

女性も男性も分け隔てなく活躍できる  
それも海上保安庁の魅力の一つです。

## さまざまなキャリア アップ

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、  
自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図  
ることができ、あらゆる分野のスペシャリストと  
して活躍する道があります。



運用管制官



あらゆる分野の  
スペシャリスト  
として活躍



パイロット

## ワークライフバランス Work Life Balance 推進

24時間365日休むことのない海上保安庁では、  
業務体制を維持しつつ、職員それぞれのワーク  
ライフバランスに配慮しています。



救急救命士



航空整備士





## 階級章



## 職員章



## ひさし章



## き章



## 表彰記念章



## 国民とのふれあい

国民の皆様へ、海上保安庁への理解を深めていただくため、全国各地でのイベントや海上保安庁音楽隊の演奏会を実施しています。



## 資料館

### 海上保安資料館

現役を引退した巡視船艇、飛行機、ヘリコプターの写真、模型、業務紹介パネルなど約1,000点近い展示物のほか、九州南西海域不審船事案で銃撃を受けた巡視船「あまみ」の船橋前面を展示。

場所 広島県呉市若葉町 5-1 海上保安大学校内

公開時間 09:00~16:00 (完全予約制)

休館日 土曜日、日曜日、休日及び年末年始

利用料 無料

連絡先 海上保安大学校事務局総務課総務係  
TEL:0823-21-4961

### 海上保安資料館横浜館

平成13年12月22日に発生した九州南西海域不審船事案で使われた工作船や回収物などを展示。

場所 神奈川県横浜市中央区新港 1-2-1 赤レンガパーク隣

公開時間 10:00~17:00 (閉館30分前に受け付け終了)

休館日 毎週月曜日(休日の場合は翌平日)、年末年始

利用料 無料

連絡先 第三管区海上保安本部総務課  
TEL:045-211-1118  
海上保安資料館横浜館  
TEL:045-662-1185

### 海洋情報資料館

実物の測量機器や日本最初の海図、海外の古地図など歴史的に貴重な資料などを展示。

場所 東京都江東区青海 2-5-18 青海合同庁舎 1F

公開時間 10:00~17:00

休館日 火、木、土曜日、年末年始

利用料 無料

連絡先 海洋情報資料館  
TEL:03-5500-7155

## 海上保安友の会

海と船が大好きな人の集い。海上保安庁に対する理解と、会員相互や海上保安官との交流を深めることを目的に設立。興味のある方は最寄の管区海上保安本部総務課へお問い合わせ下さい。

ホームページ <http://kaiho-tomonokai.blue.cocan.jp/>

## 青い羽根募金

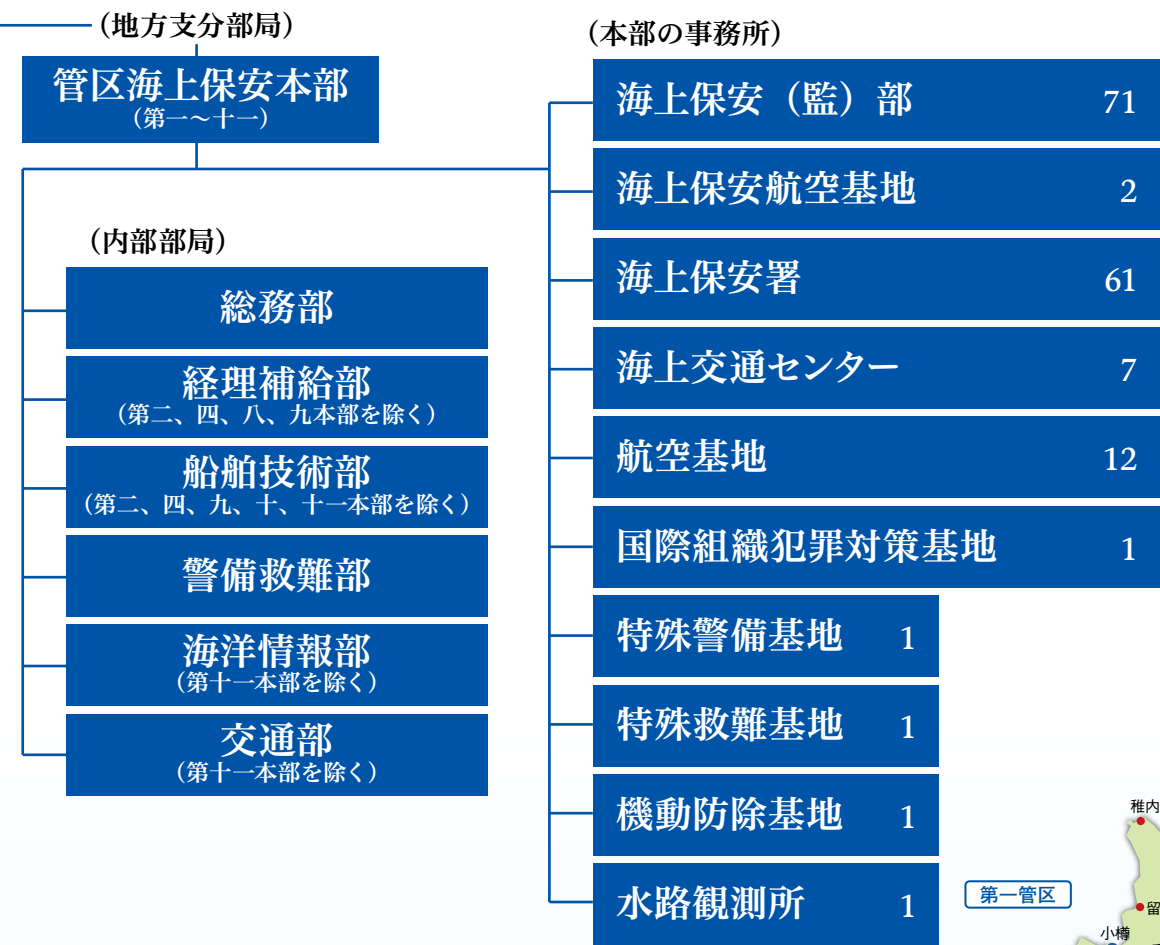
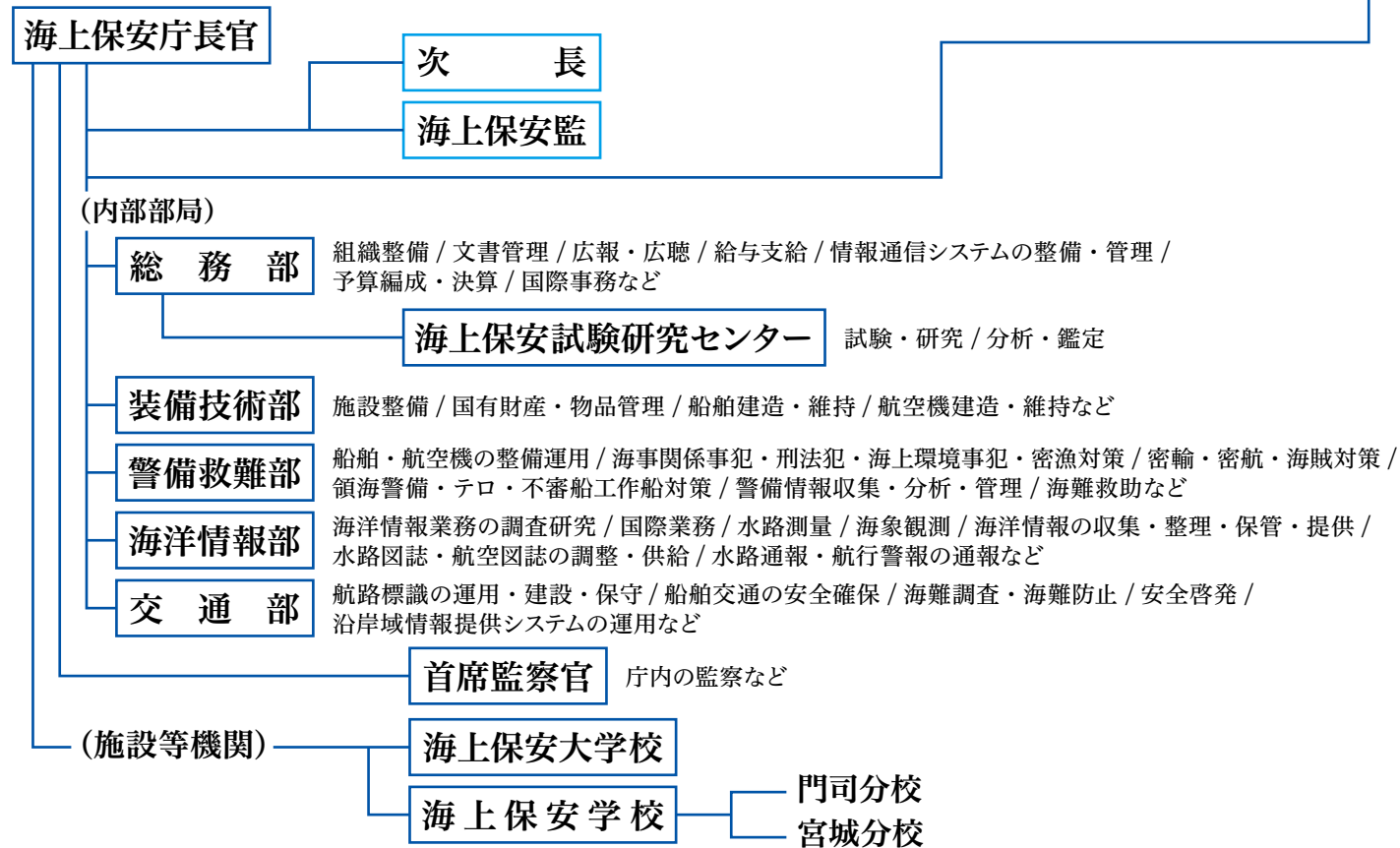
全国のボランティア救助員の活動資金等として使用されます。海上保安庁は水難救助のボランティアを支援する「青い羽根募金」に協力しています。

【お問合せ先】公益社団法人日本水難救済会 電話 03-3222-8066 ホームページ <https://www.mrj.or.jp>



# 海上保安庁の組織・体制

## 組織 (令和2年4月1日現在)



## 勢力 (令和2年4月1日現在)

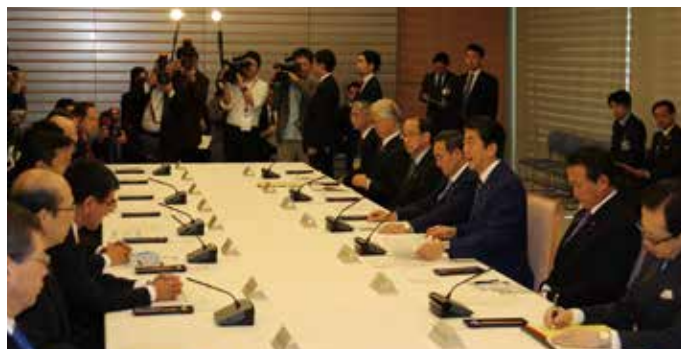
船艇 473隻	巡視船	141隻
	巡視艇	238隻
	特殊警備救難艇	71隻
	測量船	14隻
	灯台見回り船	6隻
航空機 85機	飛行機	33機
	ヘリコプター	52機
航路標識 5,163基	光波標識 (灯台、灯浮標など)	5,094基
	電波標識 (AIS信号所など)	35基
	その他の標識 (潮流信号所など)	34基

## 予算・定員

予算 (令和2年度当初)	2,254億円
定員 (令和2年度末)	14,328人

## 海上保安体制の強化

- ① 尖閣領海警備体制の強化と大規模事案の同時発生に対応できる体制の整備
- ② 広大な我が国周辺海域を監視できる海洋監視体制の強化
- ③ テロ対処や離島・遠方海域における領海警備等の重要事案への対応体制の強化
- ④ 我が国の海洋権益を堅守するための海洋調査体制の強化
- ⑤ 以上の体制を支える人材育成など基盤整備



令和元年12月海上保安体制強化に関する関係閣僚会議

## 管区本部等配置図 (令和2年4月1日現在)

